令和６年度　学校経営の全体構想

瑞浪市立瑞浪南中学校

【県の基本方針】
◇第４次岐阜県教育振興基本計画の確実な推進
・「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人の育成

【市教育指導の方針と重点】
「夢と誇りを育む 瑞浪の教育」
①学ぶ喜びと学ぶ意欲を育てる授業　②磨き合いと活力のある学校　③地域とともに進める教育

【学校の教育目標】確かな学力　豊かな心　丈夫な体

【学校課題】
◇仲間や環境に主体的に働きかけ関わりをもつ中で、生徒の自己肯定感（特に自己有用感）を育む
（１）積極的な生徒指導と教育相談…**個の実態に寄り添う教育（学力二極化傾向への対応、不登校傾向生徒に対する指導方針の明確化と共有**）、発達支持的生徒指導・課題未然防止教育の充実、「チーム学校」体制　等）
（２）地域連携の強化…生徒、職員、保護者、地域による理念の共有と具体的な活動づくり、**生徒の自己有用感を育む活動づくり**、職員の多忙感解消、情報の発信・受信の充実　等）

【めざす生徒の姿】
・仲間や環境に主体的に働きかけ、自己肯定感（特に自己有用感）を育む生徒
・ふるさとに誇りと愛着をもち、胸を張って進路をつかみ取る生徒

【経営の視点】
・全教育活動を通じ、生徒の主体性と自己肯定感を育む。そのためのひと手間、ひと工夫を大切にする。
・四者（生徒、職員、保護者、地域）の連携・協働によって生徒を育成する。四者の安心や希望や笑顔を保証する。

【経営方針】生徒の主体性を引き出し、自己肯定感を育む
1　授業をはじめとする「日常」での主体性、自己肯定感の育成
2　個の実態に寄り添い、個の伸びや変容を尊重
3　地域との連携、協働づくり
4　生徒会・委員会活動を中心とした４本柱（授業・挨拶・掃除・表現）への主体的取組

【めざす職員集団】寄り添い工夫し、未来を語る
1　協働できる職員集団“チーム南”
2　生徒の主体性を引き出し自己肯定感を高め、生徒に明るい未来を感じさせるためのひと手間・ひと工夫を大切にできる職員
3　生徒の実態に寄り添いともに活動し、活力を与えられる職員
4　互いの心身の健康を守り合える職員

《知》確かな学力
・主体性をもち意欲的に学ぶ生徒
・対話と協働の中で学ぶ生徒
★学習相談活動の充実
★授業のＵＤ化、個別支援の充実
★ＩＣＴの活用
★表現の場を位置付け、学び合いを生かした指導過程
★地域と連携したふるさと学習

《徳》豊かな心
・仲間や環境に主体的に働きかけることのできる生徒
・ふるさとに誇りと愛着のもてる生徒（稲津・陶～南中校区）
★対話的な掲示、学校環境の整備
★地域ボランティアの推奨と、地域連携検討（Win-Win の関係へ）
★日常をこそ大切にする教育
★日常とつながる道徳の授業

《体》丈夫な体
・心身の健康づくりに主体的に取り組み自己管理できる生徒
・悩みを素直に相談、克服に前向きに取り組む生徒
★ハートフル、青い鳥委員会
★「チーム学校」での不登校対策、いのちの教育
★委員会中心の保健活動の充実
★心の健康に係る教育の重視

【四本柱】楽しく学び合う授業 ・ 気持ちがつながる挨拶 ・ 美しさを求める掃除 ・ 想いを伝える表現
【合言葉】1cm の主体性 ～与えられる存在から与える存在へ～

【評価目標・指標】
年度はじめと年末に学校課題に関連したアンケートを実施。年度当初より肯定的回答を５ポイント上げる。
学校課題（1）
・主体的に学び、授業がわかると感じる生徒　　・自己肯定感（自己有用感）を感じている生徒
学校課題（2）
・地域とのつながりを大切にしようとしている生徒　　・生徒の自己有用感を連携して育む学校と地域